

2013年2月28日

2017年度までに約10%のCO₂を削減！ セブン&アイグループで取り組む 「CO₂排出量の目標値」を策定

株式会社セブン&アイ・ホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役会長 最高経営責任者<CEO>：鈴木 敏文、以下 セブン&アイ HLDGS.）は、従前より事業会社毎に取り組んできた環境対策をより一層強化し、地球温暖化防止を目的にした「CO₂排出量の削減の目標値」を策定しました。

当社では、環境問題を経営の最重要課題の一つと位置づけ、セブン&アイグループとしての「環境宣言」ならびに「地球温暖化防止に関する基本方針」を2008年6月に策定し、地球環境や温暖化に関する省エネ技術革新の動向等を注視し様々な形でCO₂の削減に努めてまいりました。このたび5年後のCO₂排出量の目標値を策定し、更なる削減に取り組んでまいります。

記

2017年度にセブン&アイグループで約10%のCO₂を削減します。

- 企業の経済活動の上で店舗数が増加することで、CO₂の総排出量は増えていきます。店舗数の増加に比例したCO₂排出量の増加を抑えるべく、最新の省エネ設備、再生可能エネルギーの導入により、本来排出されるCO₂排出量を約10%削減することを、セブン&アイグループ各社の方針として2017年度の達成を目指してまいります。
※CO₂排出量目標は、2011年度の温対法の排出係数を使用した場合の目標です。
※目標にしたセブン&アイグループのCO₂排出量とは、国内売上の9割以上を占める主要9社の合計です。

【2017年度の見込みCO₂排出量約300万t-CO₂】

※店舗数は増加。省エネ設備、再生可能エネルギーの導入を行わなかった場合



【2017年度の目標CO₂排出量約270万t-CO₂】

※店舗数は増加。省エネ設備、再生可能エネルギーの導入した場合

- 省エネ設備、再生可能エネルギーの導入によるCO₂削減行為計画
 - ・売場やバックルーム等のLED照明の導入推進
 - ・太陽光発電と一部蓄電池設備の導入促進
 - ・空調設備の入替による高効率化
 - ・環境配慮型車両の導入等による物流における削減
 - ・スマートセンサー等の導入による電気の見える化＝節電強化

他

- 事業会社9社の1店舗当たりのCO₂削減目標
(2017年度/2011年度比を%で表示)

セブン-イレブン・ジャパン	99%
イトーヨーカ堂	94%
ヨークベニマル	90%
ヨークマート	93%
シェルガーデン	79%
そごう・西武	99%
ロフト	77%
赤ちゃん本舗	87%
セブン&アイ・フードシステム	99%

【ご参考】2008年6月発表の環境宣言

■ 「環境宣言」の要旨

- ・環境問題対策において、世界の小売業のトップリーダーを目指し、セブン&アイグループ全社をあげて取り組みます。
- ・CO₂の排出削減をより一層積極的に推進します。
- ・グループ全社員へ環境教育等を通じた啓発に努めます。
- ・社員一人ひとりが企業市民としての社会的責任を自覚し、地球環境、地域社会との共生に取り組みます。
- ・環境に関する取り組みについて、正確・確実・迅速に情報を公開してまいります。

以上